EU Indicators

発表日:2018 年 9 月 19 日(水)

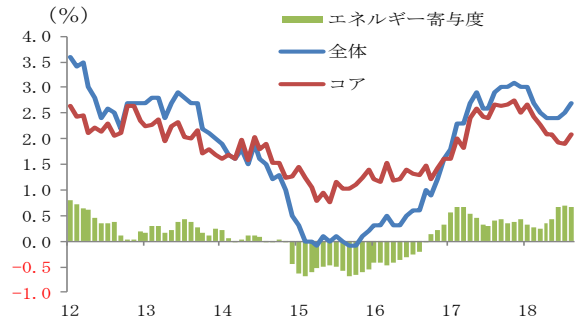
欧州経済指標コメント:８月英国消費者物価

～夏の夜の夢、それとも･･･～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理(TEL:03-5221-4527)

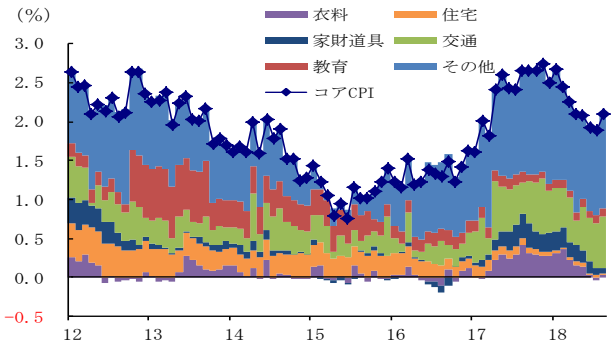
- ８月の英国の消費者物価は前年比＋2.7%と前月（同＋2.5%）から上昇率が加速、今年２月以来の水準を記録した。内訳は、前年同月の急伸の反動もありエネルギー（前月：同＋9.3%→今月：同＋8.9%）の上昇率が僅かに鈍化した一方、同じく反動減が予想されたコア物価（同＋1.9%→同＋2.1%）が予想外に加速し、全体の計数を押し上げた。食料（同＋2.3%→同＋2.5%）とアルコール・たばこ（同＋3.5%→同＋4.1%）の加速は前年同月の反動増に助けられた。
- コア物価の予想外の加速を牽引したのは、衣料（同▲0.5%→同＋0.3%）、医薬品（同＋0.9%→同＋1.5%）、航空運賃（同＋4.2%→同＋6.6%）、娯楽サービス（同＋3.6%→同＋5.1%）。夏場の天候好転が衣料品や娯楽関連の価格上昇につながったほか、月毎の振れが大きい航空運賃の上昇加速は前年同月の反動増に助けられた面もある。ただ、先に発表された労働統計では、失業率が43年振りの水準に低下し、賃金上昇も加速した。原材料価格の上昇に労働需給の逼迫が重なり、消費者段階の物価にも徐々に上方圧力が加わり始めた可能性もある。
- ８月に追加利上げを決定したＢＯＥは、来年３月に英国のＥＵ離脱日程を控え、当面は様子見を継続するのが規定路線となっている。だが、来月以降も物価の上振れが続くようだと、想定以上に早く利上げ再開を迫られる恐れがあり、難しい舵取りを余儀なくされる。

■英国：消費者物価の推移（前年比）



注：コア物価は食料・タバコ・アルコール・エネルギー除く
出所：英統計局資料より第一生命経済研究所が作成

■英国：コア消費者物価の要因分解（前年比）



出所：英統計局

■英国の消費者物価（%）

		2017 3Q	4Q	2018 1Q	2Q	2017 12月	2018 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費者物価	(前期比)	0.5	0.8	0.2	0.9	0.4	-0.5	0.4	0.1	0.4	0.4	0.0	-0.0	0.7
	(前年比)	2.8	3.0	2.7	2.4	3.0	3.0	2.7	2.5	2.4	2.4	2.4	2.5	2.7
コア消費者物価	(前年比)	2.6	2.6	2.5	2.0	2.5	2.7	2.4	2.3	2.1	2.1	1.9	1.9	2.1
食料品	(前年比)	2.6	4.0	3.2	2.3	3.9	3.7	3.0	3.0	2.7	2.3	2.0	2.3	2.5
アルコール	(前年比)	3.3	3.0	2.1	0.7	2.7	2.2	3.2	0.8	1.4	0.3	0.3	-0.9	0.4
たばこ	(前年比)	5.4	6.2	7.3	6.9	8.0	8.3	7.8	5.8	6.1	7.2	7.3	7.3	7.2
エネルギー	(前年比)	4.9	5.1	3.7	6.3	5.5	4.3	3.6	3.3	4.4	5.7	8.7	9.3	8.9
住宅用燃料	(前年比)	5.2	6.2	6.3	5.2	6.3	6.4	6.4	6.2	5.7	3.7	6.0	6.6	6.5
自動車燃料	(前年比)	4.4	3.8	1.0	7.5	4.7	2.1	0.8	0.3	3.1	8.0	11.6	12.4	11.7

注：消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。